

『ワクチンで困るケースをみんなで話してみました ケースで学ぶ予防接種の実際』訂正表

いつも小社出版物をご利用いただき、ありがとうございます。

『ワクチンで困るケースをみんなで話してみました』に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともに、ここに訂正いたします。

■ 「Case 1 集団生活でリスクが上昇する疾患を予防する」 p.8 「Memo 3 水痘の合併症」 1 行目

【誤】 とくに20歳以上の罹患者においては致死率は35%と言われる。

【正】 成人水痘の発生頻度は少ない（全体の5%）が、死亡例を占める割合が高かった（死亡例の35%）と報告されている。

■ 「Case 16 妊婦のトラベラーズワクチン」 p.172 「表 16-2 妊婦におけるワクチン」中の記載につき

【誤】

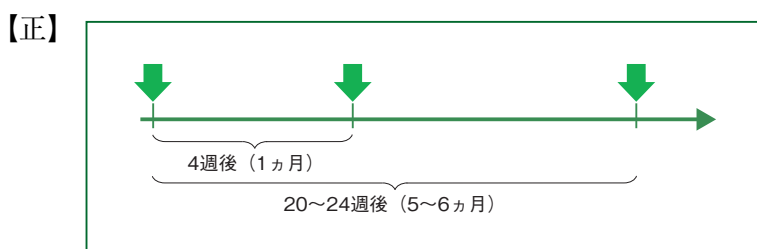
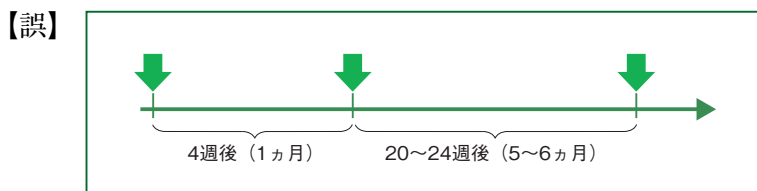
インフルエンザ(不活化)	推奨されない
--------------	--------

【正】

インフルエンザ(不活化)	推奨
--------------	----

また、2 ページの B 型肝炎のワクチンスケジュールの図につきまして、小児科学会等の推奨に合わせ、表記を以下のように変更いたします。

■ 「Case 1 集団生活でリスクが上昇する疾患を予防する」 p.2（接種間隔）の図



B型肝炎ワクチンで一般に推奨されるスケジュールは、0、1ヵ月後、6ヵ月後を用いることが多いが、本書では添付文書上の記載およびメーカー確認のもと上記のように訂正した。

〈2014年10月15日現在〉